

巡礼マップ作成



心の支援と観光振興へ

気仙三十三 〃 寄る辺 〃 復活願い 観音霊場

東京都内の僧侶らでつくる社会慈善委員会「ひとむじの会」が、「気仙三十三観音祈りの道探訪」札所ガイド巡礼マップを作成した。東日本大震災前に陸前高田市観光物産協会で発行した巡礼マップの改訂版で、被災地での心の支援と観光振興への願いを込めた。

巡礼マップは、同会環。の気仙三十三観音霊場 札所の中には、震災復興プロジェクトの一津波によって壊滅的被害を受けたところもあり、被災地住民の〃寄る辺〃復活を目的に再版した。

札所の中には、昨年3月の地震津波によって堂宇や伽藍に壊滅的な被害を受けてしまったところや、幸いにして観音像だけは無事だったところもある。このため、巡礼マップ(改訂版)には、流失した札所の被災状況を加筆した。

また、はじめて訪れる人たちのために、各札所の位置や行程、見どころなどを地図で分かりやすく紹介。被災寺院の移転先や御朱印

の取り扱い場所なども記入している。マップは、タテ60センチヨコ42センチの八つ折りで、1000部作成。気仙三十三観音札

所のある村寺仏閣や気仙三十三町の観光物産協会などに配布し、観光面にも役立ててもらいたいとしている。

同会の吉水岳彦さんは「気仙の方々にあって〃心のよりどころ〃だった観音巡礼が再び機能するよう(マップを)多くの方に広く使っていただきたい」と、福田亮雄さんは「マップづくりにかかわって

くれた地元の方々の熱い思いを感じ、背中を押された。その思いにそった形で『祈りの道』の再生を進めたい」と話している。

同会では本年度、気仙三十三観音霊場ホムページの作成、各札所の朱印作成なども計画。10月には気仙三十三観音霊場に関する講演会の開催も予定している。

子どもの遊び場完成

水遊びや泥んこ遊びで笑顔

広田町

陸前高田市で母親の支援活動を展開するまきばっこ(村上あゆみ代表)は28、29の両日、同市広田町の黒崎公民館向かいに「冒険あそび場 まきばっこ広場」を新設したオープンイベントを開催した。子どもたちは水遊びや泥んこ遊びでたくさん体を動かし、新しい遊び場を思う存分に楽しんだ。

冒険あそび場は、木や施設などを子どもたちが自由に使用できる自ら遊びを発見できる広場。地域のボランティアたちも協力し、6月末から準備を進めてきた。広場に用意されたの

大船渡の三陸(Ｂ＆Ｇ)で30球千葉口木の小宮木知宏が対野球教室が開野球教



証明写真
より美しく。
佐藤写真館
盛岡市役所下 ☎26-3835